

日本会議 愛知県本部

〒464-0836

愛知県名古屋市千種区菊坂町3-5-302

E-mail: tokai-seikyo@mtc.biglobe.ne.jp

TEL: 052-763-4678

FAX: 052-763-4588



あいち通信 第八十六号

終戦71年 愛知縣護國神社に集う

□去る8月15日の終戦の日、毎年恒例となった参拝者への冷茶サービスと憲法改正署名活動を奉仕した。境内では、マリアナ方面にて湯きに苦しみ、戦死された方々の御霊鎮めの献水祭や、正午の黙禱式が執り行われた。



続く16日は、夜の帳がおろる夕刻より、献灯祭があった。境内には県内各地より奉納された雪洞が一面に並べられ、幻想的な空間が広がる。前日に続き、多くの参拝者があったが、特に若い男女の姿が目立っていた。拝殿前の舞台では、青年僧侶グループによる読経や、青年神職の御神楽や芸能奉納が続いた。日本会議愛知県本部からも、元陸上自衛隊第10音楽隊の方による軍隊ラッパを奉納させていただいた。

□去る8月21日、日本会議名古屋東部支部主催による「日本の誇りセミナー」が開催された。講師は多久善郎氏(日本会議熊本理事長)。多久氏は本年5月に「永遠の武士道」(明成社)と題する著書を出版されたが、学生時代より学び続けた「武士道」に生きた偉人の言葉を取り上げて、独自の観点で解説された名著である。今回はその中の人物を紹介しながら、更に詳しく、ご自身の体験も織り交ぜながらの講演会であった。

「日本の誇りセミナー」ー永遠の武士道ー開催さる



名城住宅跡地の残りも、愛知学院大学が取得へ

□中日新聞は8月30日朝刊で、「国有地の名城住宅跡地の残りの敷地8000㎡も愛知学院大学が取得申請に動く」と一面に掲載した。この土地は、中国領事館が取得申請をしていたが、地域住民や保守団体の根強い反対運動があった。そして、本年6月に財務省は中国に対して売却拒否を通告。残る敷地も愛知学院大学が取得となれば、6年越しを経て一応の決着を見ることがとなる。

陵墓参拝記 その二十

今年三月末、京都に桜の開花宣言がなされてからおよそ一週間後、陵墓参拝に訪れました。今回の参拝エリアは哲学の道から黒谷のあたりで、最初の目的地は永観堂のすぐ西にある後醍醐天皇の皇子、尊良親王のお墓です。尊良親王は新田義貞とともに越前敦賀の金ヶ崎城にて北朝軍と戦いますが、防戦むなしく敗れ自刃なされます。その後、ここに埋葬されました。二礼二拍手一礼。



次は哲学の道の南端から北上して程なく左手に十数メートル四方堀で囲まれた墓所を見下ろすことができます。第百八代後水尾天皇の皇女昭子内親王のお墓です。哲学の道からは墓所の中がすっかり確認することができ、墓所の正面へ行く扉は閉ざされて中を窺うことはできません。合掌。哲学の道に戻り少し北上し疎水にかかる細い橋を渡ったところに第九十三代後伏見天皇の十八世皇孫女、伏見宮第十九代貞敬親王の王女である宗諱女王のお墓があります。少し北にある霊鑑寺の五代門跡だそうです。合掌。橋を戻り逆に西の方へ降りていったところには久邇宮家の墓地があります。ここも四方を堀に囲まれ扉が閉ざされているため中を窺うことはできません。正面に立ち合掌。また哲学の道に戻り二百メートルほど北上し東に折れて上つていくと霊鑑寺があります。霊鑑寺を通り過ぎ

たところを南に折れて進むと霊鑑寺宮墓地があります。ここにも霊鑑寺の門跡となられた皇族方のお墓があります。合掌。またまた哲学の道に戻り五十メートル北上し西へ降り最初の辻を右に折れたところには、第六十三代冷泉天皇の火葬塚があります。参道入り口の扉は締め切られていますが、参道右手が丸々駐車場なので駐車場のフェンス越しに正面近くまで行き合掌。午前最後の目的地は冷泉天皇の櫻本殿です。三度目くらいの参拝です。哲学の道に戻り油取り紙で有名な「よーじやカフエ銀閣寺店」を右手に見ながら東へ少し上ったところにあります。ここには、後一条天皇の皇后である威子皇后の火葬塚も一緒になっています。二礼二拍手一礼。この地点は一キロ半ほどの哲学の道全工程のちょうど中間地点です。近くで昼食をとりました。次号に続く。(愛知県本部 事務局 松川秀康)

事務局日誌(八月) 服部守孝

三日(水) ボランティアアスタフ二名が勤め帰りに来局。パソコン作業をしていただいた。今月は、各種行事が目白押しに続く。いよいよ明日から多忙を極めるが、頑張つてやり遂げたい。四日(木) 春日井支部主催の河添恵子さん講演会が開催され、約八十名の参加者があった。終了後は、サイン会や懇親会などがあり、和やかな一タとなった。五日(金) 第十五回もうひとつの戦争展初日。午前中に搬入と設営を終え、午後より一般公開。日本会議愛知県本部では会場の一角に、天皇皇后両陛下の画像、フイリピン行幸啓の写真パネルを展示した。多くの参観者を期待したい。

六日(土) 戦争展特別企画の我那覇真子さんによる「沖繩の真実」と題した講演会が開催された。当初の予定を大幅に上回る来場者で立見席まで出た。七日(日) 今日にはトリプル。朝は、護国神社清掃奉仕。その後、名古屋駅にて皇太子殿下お出迎え。夕方より戦争展会場の撤収と搬出作業。八日(月) 皇太子殿下を名古屋駅にてお見送り。二日間の奉送迎で一千本の国旗小旗を配布した。午後三時より、天皇陛下のお言葉がテレビ放映される。十三日(土) 墓参とクラス会のため、故郷へ。愛西市(旧海部郡立田村)は蓮根の産地。青一面の蓮田は、私の原風景だ。服部家墓所には、昭和七年四月一日 従七位勲八等 服部重太郎建之と刻まれてある。曾祖父、重太郎は明治の御代に鍋田村(現弥富市)の村長を官選で推された。干拓事業に精魂を傾けた人。この墓には、十代に及ぶ先祖累代の方々が祀られている。祖父は私が生まれて間もなく亡くなったが、村から始めて近衛騎兵(儀仗兵)に召された人だと、乗馬姿の祖父の写真を見せながら祖母が語っていた。父は十年前に亡くなったが、議員に三十三歳で初当選後、四十年の長きにわたり、地方政治に尽くした。私もその家名に恥じざる人生を全うすることを墓前に誓った。



十四日(日) 南部県議の指導の下、愛知県護国神社の境内に六人がかりでテント二張りを建てた。明日はこのテント内で参拝者に冷茶のサービスや、憲法改正署名を実施する。



十五日(月) 終戦の日。愛知県護国神社にて、日本会議愛知県本部の会員で参拝者への奉仕活動を行う。十六日(火) 夕刻より、愛知県護国神社献灯祭へ。本年は、南部県議のご尽力と、愛知県護国神社様のご協力をいただき、軍隊ラッパの奉納をさせていただきました。奏者は元陸上自衛隊第十音楽隊の方。拝殿に正対し、「海行かば」、「軍隊調「君が代」、「一國の鎮め」、

「消灯ラッパ」とトランプेटでの演奏が続いた。莊重かつ哀愁の音色が、境内に響き渡る。さぞ御英霊もお喜びであろうと、拝察しながら、聞き入った。二十一日(日) 名古屋東部支部主催の「日本の誇りセミナー」が開催された。講師は、多久善郎氏。近著の「永遠の武士道」をテーマに、先人が残した珠玉の言葉を紹介しながら、日本人の生き方について講演された。懇親会を終えて、事務所に戻ると、「世界のやまちゃん」の山本重雄氏の訃報。先ほどの懇親会を「やまちゃん」で開いたばかりだった。これを奇遇と言うのか、それとも何かのご縁なのか。氏は名古屋飯の代表「手羽先」を全国に広め、近年はタイや台湾にまで出店させる勢いで店舗展開する経営者だった。私ども日本会議愛知県本部では、平成二十四年四月、当時の民主党政権による亡国の惨状を憂い「真正保守政権を構想する」のテーマに、安倍晋三氏と青山繁晴氏の一千名講演会を開催し、安倍総理待望運動の先鞭をつけた。その折りに、山本氏は私どもの趣旨に賛同されて、全店舗にポスターを掲示し参加促進に快く協力していただいたのであった。享年五十九歳。余りにも早い。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

愛知県護国神社清掃奉仕予定
■10月2日(日)午前8時開始。
■引き続き11月6日(日)午前8時開始とします。
■軍手を必ずご持参ください。また、小雨なら社殿の木杵拭きをしますので雑巾をご持参下さい。大雨は中止になりますが疑わしい天気の場合には、現場責任者の服部宛、電話(070-6583-4588)を下さい。
★9月4日は、17名の方が参加しました。



(9月4日 奉仕後に撮影)
●「日本の息吹」を引き続きご購入くださいますようお願いいたします。